

社会科課題追究学習作品への取り組み方

休日や、夏休みなどの長い休みをつかって社会科の作品づくりに取り組んでみませんか。小学校の低・中学年であれば、おうちの人といっしょに取材したりまとめたりすることもとてもよい経験になります。追究したい課題と調べ方がはっきりすれば、夏休みに入る前に学校の友達にアンケートに協力してもらおうという方法もあります。この紙面を参考にして、ぜひ挑戦してみてください。

【課題の見つけ方】

- ・身近な生活の中で感じたきもみや、社会科の学習の中で、もっとくわしく調べてみたくなったことをたくさん書き出してみましよう。
「なぜ～なのか。」「～はどうなっているのか。」「～さんは、なぜ～するのか。」
- ・それらの中で、これを調べて考えていけば、追究したいことがふくらんでいくと考えられるものを1つ決めて課題としましよう。

【予想の立て方】

- ・決めた課題について、今までに見たことや聞いたことや学習したことなどから考えてみましょう。「きっと、～だからだと思う。わけは～。」というように予想を立てます。

【調べる内容】

- ・自分が立てた予想を確かめるためには、「このこと・この事実が分かればよい」「～について調べればよい」というように、調べる内容をはっきりさせましよう。

【調べ方】

- ・インターネットで簡単に資料が手に入るようになりましたが、自分自身の足で出かけて情報を得たり、体験を通して調べたりすることで、大切な見方や考え方が養われます。

どこで : 現地で、図書館で、資料館で
どのように : 見学・調査
アンケートやインタビュー
電話
本や資料集で } 出典を明記し
インターネットで } ましよう



< 昨年度の作品展の様子 >

【まとめ方】

- ・調べたことを、絵・グラフ・写真・地図などをつかって分かりやすくまとめましよう。
- ・次に、そこから考えたことを自分のことばでくわしく書いてみましよう。そのときに、課題とつないで書くことや、予想と比べて書くことを大切にしましよう。
- ・分かってきたことの中で、自分ができていることを考えて実践し、自分の生活に生かしてみたり、自分が直接できないことについては、考えをまとめて役所などへ提案してみたりすることもよい方法です。
- ・さらにきもんに思うことやなっとくできないことについては、調べ方をはっきりさせて追究してみましよう。(このくり返しがより深い研究につながります)